

学生による授業評価アンケート 2007年前期結果(栗山担当科目)

栗山浩一

表1 評価結果一覧

		全学 平均	環境 経済学	計量分析 03	計量分析 04
	履修者数		298	65	65
	回答者数		19	5	8
1	予習・復習を含め自分はこの授業に熱心に取り組んだ	3.5	3.9	3.2	3.5
2	科目登録時にシラバスが役立った	3.3	3.9	3.4	3.9
3	内容がわかりやすい授業であった	3.7	4.9	4.8	4.6
4	教員が熱心であった	4.0	5.0	4.6	4.3
5	この分野への学習意欲がわいた	3.7	4.7	4.6	4.0
6	授業環境が適切であった	3.6	4.0	4.4	4.0
7	総合的によい授業だった	3.8	4.8	4.6	4.1

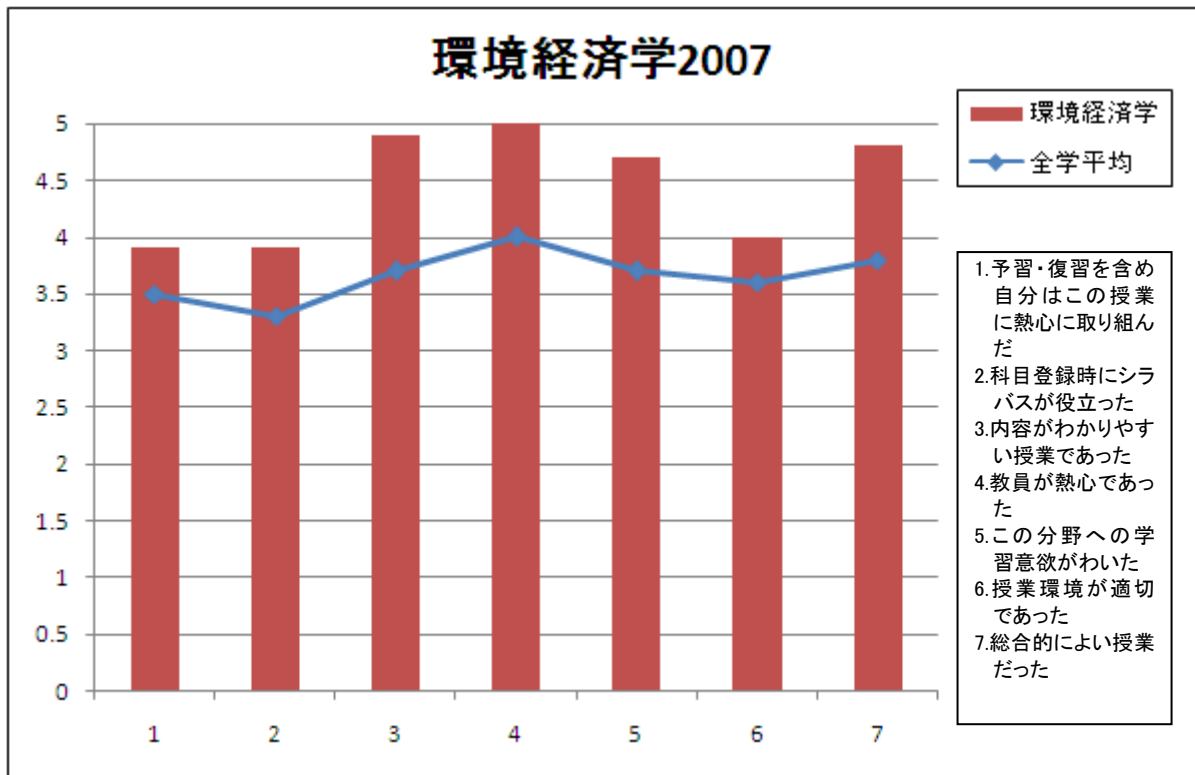
注：点数は5点満点、「全学平均」大学全体の平均値

- ・ 今回も Web 調査のため回答率が1割前後と低く、評価結果の信頼性はあまり高いとはいえない。
- ・ 「7.総合評価」は例年とほぼ同じ水準。
- ・ 環境経済学では、授業の最終回に紙でアンケートを実施したが、そのときに Web 回答と同じ設問（「総合的によい授業だった」を5点満点で評価）を実施した。その結果は以下のとおりであった。紙の回答率が67%と高いのに対して Web 回答はわずか6%。ただし、総合評価の点数はほとんど同じであった。この傾向は、2006年度と同じである。また、2004年以降の Web 調査と紙調査の評価結果を表2に整理した。

表2 環境経済学 これまでの評価結果

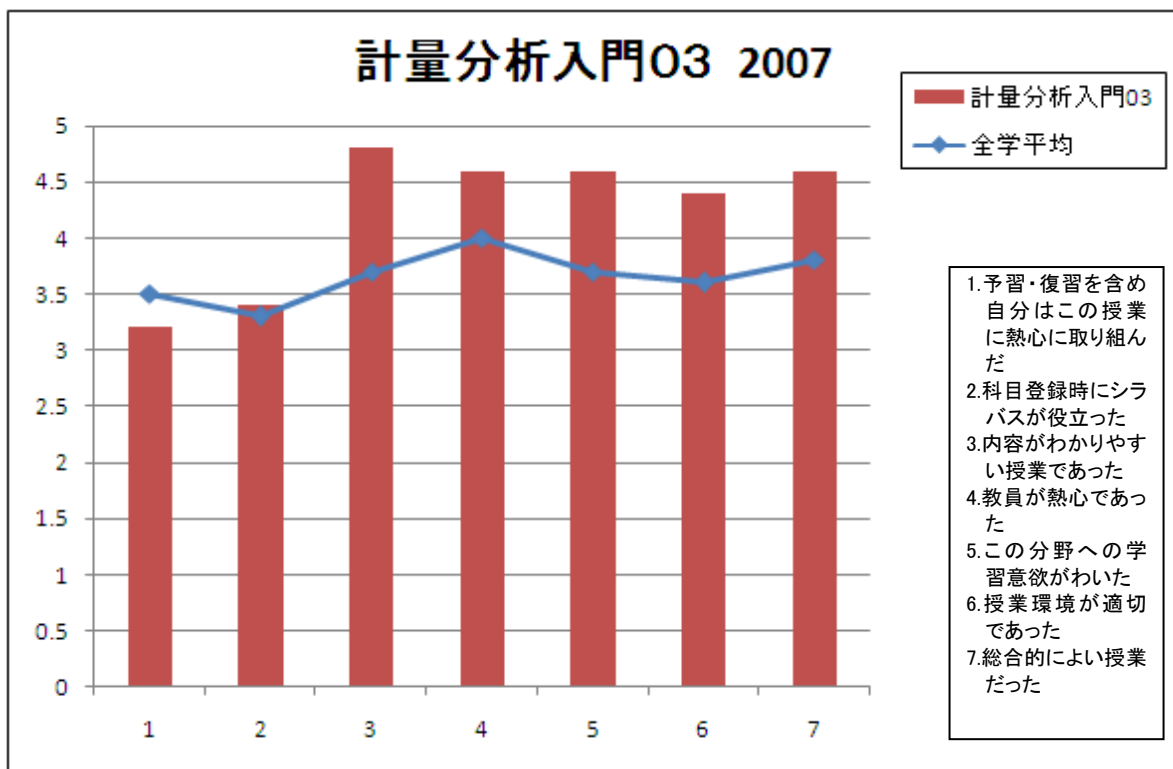
	2007 Semester		2006 Semester		2005 前期	2005 後期	2004 前期	2004 後期
	Web	紙	Web	紙	Web	Web	紙	Web
履修者数	298	298	376	376	501	498	420	415
回答数	19	201	18	190	92	36	226	55
回収率	6%	67%	5%	51%	18%	7%	54%	13%
総合評価	4.8	4.7	4.6	4.4	4.6	4.9	4.8	4.6

授業評価 グラフ



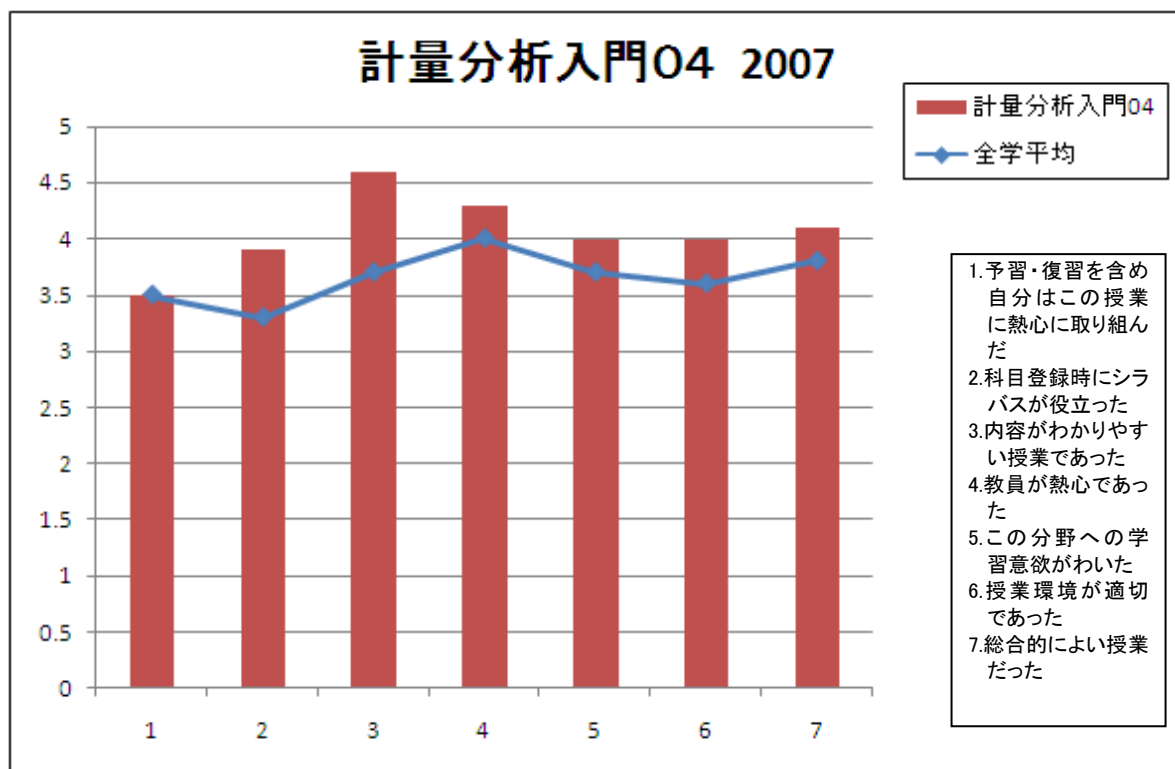
自由記入欄

- 冷房の効きが悪く、蒸し風呂のような教室で授業を受ける日がありました。
- 授業に対していろいろと準備している様子が伝わってきました。内容も面白かったし、映像資料や実験、図での説明(経済モデル)もあって分かりやすかったです。
- 教室が騒がしい。
- とても丁寧で分かりやすい授業でした。先生の学生を思ってくださいる気持ちも伝わってきて、素晴らしい授業だったと思います。ありがとうございました。
- 最後の経済モデル板書の際に、時間がなくなってしまったせいか説明が早く、ただモデルを写すのに必死でそのモデルが何を言っているのかよくわからなくなってしまったことがあるので、もう少し間をおきつつやってもらえるとうれしかったです。



自由記入欄

- 作業手順をしっかりひとつひとつ指導してくれて、授業中迷うことがなくて非常によかった。
- 本当に初歩から教えてくださるので、ありがたかった。ただ、ソルバーの回は急ぎ足過ぎてついていけなかった。



自由記入欄

- 最後の最後、テストができませんでしたて・・・
- 良い。
- 授業内容はとても分かりやすく、実用的でした。
- 名簿読み上げで出席をとるが、その時間もったいなと思った。
- 授業については不満はない。
- 授業内容は良いのですが、試験の量が多すぎ、内容も授業で習っていないものが出たりして、試験終了後不満が残りました。他の人も同様に思っているそうです。
- テストの時間が足りないというか、内容が高度だったので埋められない部分がありました。
- テストの正答がわからないままだと、やりっぱなしで何の進歩もないので模範解答を示してほしいです。